



こどもクリニックニュース

NO. 122 平成22年2月1日発行
ともながこどもクリニック

休診の予定

3月末までは通常どおりの診療を予定しています。

4月16日(金)、17日(土)は休診です。

水曜日は「一日休診」です！

平成21年4月1日より、毎週水曜日は一日休診となりました。その代わりに、一部の祝日の午前中に診療しています。

「ともながこどもクリニック・診療カレンダー」

半年分の診療の予定一覧をカレンダーにして受付窓口および玄関下駄箱の上に置いてあります。自由にお持ち帰りください。

院長の予定 (2010年3月まで)

2月	5日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
3月	5日	(金)	3ヶ月健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。なお水曜日は一日休診ですので診療には影響ありません。



感染症の情報

インフルエンザは年末年始を境にかなり少なくなりましたが、1月下旬になって一部の小学校や保育園・幼稚園などで再び流行してきましたので注意が必要です。今のところすべて新型インフルエンザと推測されていますが、季節性インフルエンザが流行してくる可能性もあり、油断できません。今後も手洗いやマスク、咳エチケットを心がけてください。

1月になって嘔吐・下痢・発熱といった胃腸炎症状の方が増えてきました。毎年冬に流行する病気です。年末にはあまり流行していませんでしたが、遅ればせながら流行してきました。強い吐き気が治まるまでの1~2日間くらい、水分と塩分の補給をして脱水状態を起こさないようにすることが一番大切です。今のところ、点滴が必要な程ひどい脱水状態になる方は少ないです。

そのほか水痘や流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、溶連菌感染症が、少ないながらも流行しています。

そろそろ花粉症対策を！

環境省の予測では、今シーズンの関東地域の花粉飛散量は例年の半分くらいとのことですが、飛散開始時期は例年よりも早まりそうです。花粉の量が半分といっても飛散することには変わりありません。もともと軽い方でない限り、それなりの症状が出るはずですので、気を緩めないでしっかりと対策をとりましょう。

すでに1月下旬から、当院では花粉症様の症状で来院される方が見られるようになりました。

花粉対策の基本中の基本は「花粉を眼や鼻に入れないこと」です。外に出るときのマスクや帽子・メガネ(ゴーグルはさすがにうっとうしいでしょう)は勿論ですが、家の中に花粉を入れないように注意しましょう。

洗濯物は外に干さない。布団を干すのもしばらく中止。外出から帰ったら、服をはたいて花粉を落とすことなどが有効です。ご家族の協力が欠かせませんね。

新発売のワクチン

小児用・肺炎球菌ワクチン（プレバナー）

成人用の肺炎球菌ワクチンはすでに普及しており、新型コロナウイルスの際の高齢者の合併症予防としても話題になりましたが、小児には使うことができませんでした。やっとこの春、小児用のワクチンが発売される予定です。

小児、とりわけ乳幼児の細菌性髄膜炎の原因の6割くらいがインフルエンザ菌（Hib）で、次に多いのが肺炎球菌と呼ばれている菌です。この二つの菌で、細菌性髄膜炎の原因の8～9割くらいを占めています。ヒブ（Hib）ワクチンは1年ほど前に発売されましたが、肺炎球菌ワクチンはまだだったのです。

さらに肺炎球菌という菌は、髄膜炎以外にも、肺炎や副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）、中耳炎をしばしば引き起こすことがあります。肺炎球菌ワクチンはこれらの病気の予防にも役立ちます。

接種方法はヒブ（Hib）ワクチンとほぼ同様で、理想的な接種は三種混合ワクチンと同時に初回3回、1年後に追加1回が勧められています。接種開始年齢によって、接種回数の違いがあるのも同様です。

接種費用は、まだワクチンが発売されていないので不正確ですが、1回10,000円前後になりそうとのことですが、ちょっと高いですが、その価値はあると思われます。先進諸国の多くでは公費接種としているところが多く、日本でも公費接種となることが望まれます。

正式に発売されたら、再度お知らせします。

子宮頸がん予防ワクチン（バルトレックス）

女性のがんの一つである「子宮頸がん」の予防ワクチンです。

子宮頸がんは「発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）」が原因だということが分かっています。HPVはさらに細かく分類され、その中で子宮頸がんの原因となることが多い2種類のHPVに対するワクチンが昨年発売されました。発がん性HPVの6割くらいに対して予防効果があります。残念ながら100%予防できるわけではないので、定期的な検診は必要とのことでした。

接種方法は、10歳以上の女子に、6か月の間に合計3回筋肉注射します。任意接種（有料）で、3回で40,000円前後になるそうです。接種年齢は小児科領域が含まれますが、予防する病気が「がん」ですので、婦人科や内科での接種が良いようにも感じられ、当院ではまだ用意していません。今後希望者があれば検討いたします。

日本もやっと先進国並みに、いろいろなワクチンが使えるようになってきましたが、そのほとんどは任意接種（有料）です。ワクチンを普及させて病気を大きく減らすには公費接種になることが望まれます。ほとんどの先進国では公費で実施されているのです。つまりところは、政府や行政機関の取り組み次第ですね。

小児科休日診療・当番表

平成22年2月

日にち	曜日	当番医
7日	(日)	加藤こどもC
11日	(木)	ともながこどもC
14日	(日)	福島小児科医院
21日	(日)	つのだ小児科医院
28日	(日)	中田病院

平成22年3月

	曜日	当番医
7日	(日)	加藤こどもC
14日	(日)	つのだ小児科医院
21日	(日)	中田病院
22日	(月)	ともながこどもC
28日	(日)	福島小児科医院

11月から3月まで、加須市内の小児科の医療機関が輪番で、休日診療を行っています。

診療時間は9:00～12:00です。医療機関の事情により変更があるかもしれませんのでご利用の際は電話などでご確認ください。最新情報は、加須市のホームページでもご覧いただけます。



医療機関名	TEL
中田病院	61-3122
加藤こどもC	61-0304
福島小児科医院	65-2215
つのだ小児科医院	61-2220
ともながこどもC	66-4150

子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150